



こちらのイラストは当院入院患者様の塗り絵作品です◎

病院理念

患者さま一人一人の
かけがえのない人生の
支えとなれるように、
人にやさしい医療・看護・介護を実践します

ご挨拶

読書の秋、食欲の秋、運動の秋、…秋のつく言葉で、「思秋期」という言葉があります。思秋期は、思春期と同様にホルモンのバランスが変わり、大人から高齢者になるときに、ちょうど更年期にあたるときで、脳の老化がはじまると言われます。思秋期は、過ごし方ひとつでアンチエイジングにつながります。アンチエイジングの一番の方法は、「脳を使うこと」です。

いつもと違う「新しいことにチャレンジをする」、「ドキドキすることをやってみる」というのは、脳に刺激を与えて、脳の老化をストップしてくれます。例えば、いつもと逆回りのコースで散歩する、映画を見てドキドキしたりするのも非常に良いようです。

感染対策を一人ひとりがこまめに実施していけば、少しずつ外へ出向き、過ごしやすい世の中に戻っていくものと願うばかりです。

新任看護部長のご挨拶

2022 年 7 月より横浜甞生病院から異動してきました藤田と申します。
精神科領域は初めてですが、可能な限り病棟へ足を運び現場のスタッフと共に患者さまの様子を見守りながら、私自身が精神科看護を学びたいと考えております。

この度、栄聖仁会病院看護部は病院理念を基に「1 人ひとりを大切に心のこもった看護・介護を提供します」という新たな看護部理念を掲げました。ここには、患者様をはじめ、ご家族様、当院職員とその家族「1 人ひとりを大切にする」という意味も含んでいます。看護部として、互いに感謝し合える明るい職場環境づくりを目指しております。

簡単ではございますが、着任のご挨拶をさせて頂きました。今後ともよろしくお願いいたします。

看護部長 藤田 美代子

「笑風の会」に参加してきました

8月28日に栄区の本郷台駅前地域ケアプラザ内で行われた「若年性認知症の人と家族のつどい」に当院の職員が参加してきました。

当日は参加者全員で自己紹介の後、ご本人とご家族のグループに分かれて活動を行いました。ご本人方のグループでは、東京パラリンピックの公式競技でもある「ポッチャ」を行いました。「ポッチャ」とは、ジャックボールと呼ばれる白いボール(目標球)を投げた後、対戦する両者がそれぞれ赤と青の6球を投げ合い、自球をよりジャックに近づけたチームまたは個人が勝者となる競技です。「ポッチャ」をやるのは初めての人がほとんどでしたが、慣れてくると皆楽しんでボールを投げておりました。

別室ではご家族の方に集まっていただき、日頃の思いや悩みを話し合い情報交換をおこないました。川崎幸クリニックの杉山先生からもご家族へ様々なアドバイスをお話しいただきました。

地域とつながりを持って、医療・介護に貢献していくことが必要であると改めて感じました。



秋の行事食

9/19(月) 敬老の日

【きのこご飯 鯖の幽庵焼き 胡麻酢和え すまし汁 ゼリー】

敬老の日になんで旬のきのこがたっぷりに入ったきのこご飯に、ゆずが香る幽庵焼きと残暑が厳しい中でもさっぱりと食べていただけるよう工夫しました。



9/23(金) 秋分の日

【栗ご飯 さんまの塩焼き きのこと青菜のわさび和え 豚汁 梨のゼリー】

黄色くてほくほくした栗のご飯とさんまの塩焼きは美味しい秋の始まり。きのこの和え物とあったかい豚汁。梨のコンポートをゼリーにしてみました。夏の疲れを癒すメニューです。



栄養科に新しい仲間が増えました!

「春から入職しました。新メニュー等、季節に合わせて美味しいご飯を提供していきたいです。」



医療法人社団聖仁会

栄聖仁会病院

〒247-0014

神奈川県横浜市栄区公田町 337-1

TEL : 045-895-0088 FAX : 045-893-6053

<http://sejinkai-sakae.jp/>